

## ストック二期作における有望新品種

淡路地域では、ストックの二期作が行われているが、既存品種「ホワイトアイアン」は二期作目の作型では、十分に草丈を確保する前に花芽分化の適温に達してしまい、目標とする切り花長を確保できないことが課題である。そこで、八重鑑別が不要な新規の無鑑別品種\*でもある「ホワイトコランダム」を用いて、二期作に使用する品種としての特性を明らかにした。

### 内 容

2品種（既存の鑑別品種：「ホワイトアイアン」、新規の無鑑別品種：「ホワイトコランダム」）を2010年8月10日から2週間毎に、11月30日まで9回は播種し、9月6日から定植適期ごとに淡路農業技術センター内の硬質プラスチック温室内に株間、条間とも12cmで8条植えた。その他の栽培管理は慣行に準じた。

出荷規格の秀品となるには70cmの切り花長が必要であるが、調査した9回の播種時期のうち「ホワイトコランダム」が70cmを超えたのは9月7日播種の1回だけだった（図1）。しかし、11月以降の播種では、「ホワイトアイアン」より切り花長が長かった。また、出荷規格の良品となるには60cmの切り花長が必要であるが、11月以降播種分では「ホワイトアイアン」はこの60cmに達していない。一方、「ホワイトコランダム」ではこの時期でも60cmの切り花長は確保できた。

切り花重は切り花長に応じて変化し、商品性に問題はなかった。

以上のことから、二期作目（11月播種、1月定植）に使用する品種として、無鑑別で良品規格を確保で

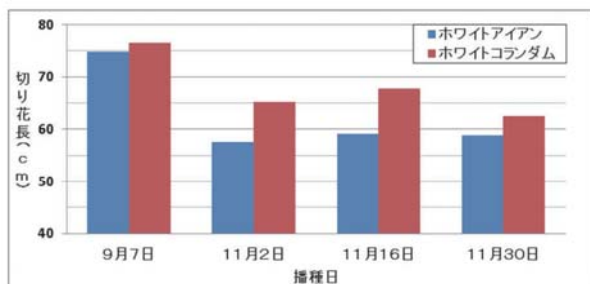


図1 播種時期別の切り花長の比較

きる「ホワイトコランダム」の有効性が認められた（図2）。

### 今後の方針

春季に収穫期を迎える作型のストックでは切り花長が不足する傾向があるため、より適した品種の検討に加えて、温度や光、その他さまざまな方法による開花調節の可能性について検討を行う。

石上 佳次（淡路 農業部）

（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）

無鑑別品種\*：熟練した技術を要する八重鑑別無しに商品価値の高い八重咲きが80～90%になる品種。鑑別品種では一重咲きと八重咲きが約半数ずつ出現する。

月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
作 型										
11月出荷	△	○	+	+						
12月出荷	△	○	+	+						
1-2月出荷	△	○								
3月出荷			△	○						
4-5月出荷 (二期作)				△		○				

図2 栽培作型例（△：播種、○：定植、□：出荷、↓：ビビフル（開花期前進）処理）



写真 ストックの一重咲きと八重咲き